

学校給食施設のあり方説明会 ご意見とご質問に対する考え方

番号	説明会にていただいたご意見・ご質問	ご意見・ご質問に対する考え方
1	<p>イニシャルコスト、ランニングコスト、トータルコストの詳細はどうなっているのか。</p> <p>(調理室の施設整備に係るコスト、現行施設の修理修繕に係るコスト、新規給食センター建設に係るコスト等について)</p>	<p>コストの詳細につきましては「平生町学校給食基本構想～給食施設のあり方の方向性について検討状況～」の38～40ページをご参照ください。</p>
2	<p>説明された事業費に国や県の補助金は入っているのか。また、補助金は入らないのか。</p>	<p>この度の説明会に用いた資料においては3案とも補助金等の収入は加味しておりません。</p> <p>複数の給食室を集約し、町内に給食センターを建てる場合は交付金の対象となります。</p>
3	<p>各パターンの事業費は今後変わる可能性があるのか。</p>	<p>あくまで現時点での推計であるため、変動はあり得ます。</p>
4	<p>修繕等を行い現状維持する方法はないのか。また、お弁当屋や仕出し屋に任せるといったことはできないのか。</p>	<p>施設の現状維持では給食の安全安心を維持できないことから今回の検討が始まっており、構造上の理由から学校給食衛生管理基準を満たせる改修は不可能です。また、民間委託によるデリバリー方式給食については、栄養計算された多様な献立の大量調理や食物アレルギーの対応が困難と考えられ、構想には含めておりません。</p>
5	<p>地産地消のため町内の納入業者、地元の商工業者を守ることは考えているか。</p>	<p>町民の生活に直接関わることであるので、注意深く対応していく必要があると認識しています。</p>
6	<p>防災上災害が多いことを考えると、一極集中するのではなく、各小中学校に何百人の食事を作るような場所を確保しないとイケないのではないのか。</p>	<p>災害時はあらかじめ締結した協定に基づき、関係団体や民間事業者からの食料等の供給を受ける形態が中心になります。</p>
7	<p>柳井市との共同運営の場合、食材の調達やセンターからの配送体制は考えているか。</p>	<p>食材の納入については、現在の体制を確認しながら柳井市と協議をしております。配送についても平生町独自の体制を整備する必要があると考えています。</p>
8	<p>佐賀小で自校式を残す場合、費用対効果はどう考えているか。佐賀小も柳井市へ集約することは考えていないのか。</p>	<p>佐賀小学校は施設の経過年数が耐用年数内であり、また小規模特認校として指定されており、佐賀小学校の特色として、自校式を継続する方向で検討しています。</p>

9	ノロウイルス等の食中毒などが起こった場合の対応をどう考えているのか。	<p>学校給食施設については早期に安全安心を実現でき、かつ財政状況などを考慮して、平生小学校と平生中学校は柳井市給食センターに集約する案を第1の選択肢として進めるものです。</p> <p>食中毒などの有事の際の責任の所在等は給食施設の運営形態が関係すると考えられます。重要な検討課題の一つです。</p>
10	学校給食あり方検討委員会ではこれまで学校関係者しか委員になっていない。地元業者等を加えるなど、メンバー構成をもう少し考えることはできなかったのか。	<p>学校給食あり方検討委員会は、今後の方針を検討していくにあたり、子ども達の安全安心な学校給食を早期に構築するための選択肢に対する意見をきくことを目的とした委員会でした。そのため、構成メンバーは直接給食事業に関わる学校長・児童生徒の保護者等としました。</p>
11	この給食施設整備の目標年度はいつになるのか。	<p>柳井市給食センターへの集約化、新規給食センターの新設など、いずれの場合でも早期に実現ができるよう検討いたします。</p>